

平成 2 9 年

第 2 回防府市議会定例会

一 般 質 問

6 月 1 5 日 (4 人)

1 山田 耕治・2 曾我 好則・3 今津 誠一・4 藤村 こずえ

6 月 1 6 日 (4 人)

5 山根 祐二・6 高砂 朋子・7 上田 和夫・8 河村 孝

6 月 1 9 日 (4 人)

9 清水 浩司・10 山本 久江・11 清水 力志・12 石田 卓成

6 月 2 0 日 (4 人)

13 和田 敏明・14 牛見 航・15 三原 昭治・16 田中 健次

No.	1	山田 耕治	
質問事項			要 旨
1	障がい者支援について		<p>(1) 市が目指す福祉都市づくりを進めるためには、日常生活及び社会生活を営む上で障壁となっているものを取り除く必要があるが、公共施設のバリアフリー化や通行しにくい歩道等の整備計画はあるか？</p> <p>(2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、いわゆる「障害者差別解消法」が平成28年4月から施行されているが、その後の周知と市としての具体的な取組みは？</p> <p>(3) 障がい者福祉に関する調査結果に対する具体的な取組みは？</p> <p>(4) コミュニケーション支援ボードの作成と普及活動を市として取り組んでみては？</p>
2	働く女性への支援について		<p>(1) 0歳～1歳までの乳幼児を預けたいが入園できない声がある中で、防府市の現状と今後の取組みは？</p> <p>(2) 平成28年度から国の国庫補助の中で、病児保育関係施設整備、人件費等の拡充もされているが、病児・病後児保育事業でのサービス拡充を考えてみては？</p> <p>(3) 女性活躍推進法に規定されている「市町村女性活躍推進計画」の本市の策定状況は？</p> <p>(4) 心強いサポーターとして活躍していただきたい祖父母や地域の皆様に対して「(仮称)防府市じじ・ばば応援手帳」を作成しては？</p>
3	防府市のPRについて		<p>(1) 来訪される皆さんへ防府市を知っていただく取組みは？</p> <p>(2) 幸せますマンホール蓋を作製してみては？</p>

No.	2	曾我 好則
質問事項		要 旨
<p>1 大規模事業と財政運営について</p> <p>2 住宅及び店舗リフォーム助成事業について</p>	<p>1月28日に実施された市庁舎建替えに係るシンポジウムにおいて、市長は「鉄道高架事業などへの巨額の投資により、他の事業が遅れに遅れて様々な面で市民に不自由をかけた。財政も逼迫して大変な状況であった。」と言われたが、市長は何をもって、そう言われたのか。</p> <p>(1) 住宅リフォーム助成事業について 現在、同事業の申請は先着順としているが、個人事業者は早朝から並べないため、申請方法を改善する必要があると思われる。今年度、この事業は、約1.3倍の費用対効果があるが、早々に助成額に達しないように事業をもっと拡大し、いつでも申請できるようにしておけば、個人事業者やリフォーム予定者は安心して申請することができるのではないか。</p> <p>(2) 店舗リフォーム助成事業について 現在、同事業の申請は、助成額に達していない。これは、店舗しか対象ではなく、従業員やその家族等が過ごす店舗の事務所も対象にしたら、申請件数は増えると思うが如何か。</p>	

No.	3	今津 誠一
質問事項		要 旨
<p>1 エフ・ビズのコンサルティングをモデルとしたハウフ・ビズ（防府市中小企業支援センター）の創設</p> <p>2 ふるさと納税</p>	<p>地方創生の本丸は中小企業の振興と確信する。中小企業の振興によって疲弊・縮小した地方経済を拡大し、併せて人口減少問題を克服することが地方創生の主眼である。</p> <p>これまで多大な実績を上げているエフ・ビズの優れたコンサルティングをモデルとしたハウフ・ビズを創設することを切望する。</p> <p>市はふるさと納税の寄附額を増やすため、協力事業者による“製品の拡充と磨き上げ”を図るとしているが、どこまで進捗しているか。</p> <p>指定寄附は昨年12月18日に受け付けを開始したが順調に集まっていると聞く。</p> <p>既に3事業が指定されているが、ハウフ・ビズ創設のための事業を追加指定して戴きたい。</p>	

No.	4	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1 観光行政について	<p data-bbox="708 360 1372 479">本市は、多くの観光資源がありながら、訴求力の弱さからそれらが観光振興に十分生かされていない現状にあります。</p> <p data-bbox="708 483 1372 562">今後の防府市における観光政策についてお伺いします。</p> <p data-bbox="683 607 1372 685">(1) 防府市における観光政策の方向性について伺う。</p> <p data-bbox="683 730 1372 808">(2) 防府市における明治維新150年事業について伺う。</p>	

No.	5	山根 祐二	
質 問 事 項			要 旨
1	自転車活用推進について		<p>(1) 平成29年5月1日に「自転車活用推進法」が施行された。国は自転車の活用を総合的・計画的に推進し、地方公共団体は国と適切に役割分担し、実情に応じた施策を実施する責務を担うことになるが、執行部のご所見をうかがう。</p> <p>(2) これまでの法律は自転車の安全利用促進と駐輪対策を定めたものだが、今回の法律は利用環境の改善を総合的に進めるものとなる。防府市における利用環境の改善をどのように考えるか。</p>
2	うそ電話詐欺防止について		<p>(1) うそ電話詐欺の山口県の直近の被害状況について、また、行政の役割、対策についてのご所見をうかがう。</p> <p>(2) 被害にあう方は一人暮らしの高齢者が多いようだが、高齢者に対する被害防止策はどのように考えているか。また、他市で行っている被害防止対策機能つき電話機の設置支援に防府市も取り組んではどうか。</p>
3	公共交通活用推進について		<p>(1) サイクル アンド ライド 推進状況についていかがか。</p> <p>(2) 福岡市はバス停付近やバス路線沿いの土地所有者に対し、バス停にベンチを設置すれば半額補助する制度を始めたが、本市でもできないか。</p> <p>(3) 本年10月に実施する市街地循環バス実証運行計画におけるバス停はどのように設置するのか。</p>

No.	6	高砂 朋子		
質 問 事 項			要 旨	
1	食品ロス削減に向けての取組みについて		(1)	<p>県推進の「やまぐち食べきっちゃよる運動」 に対しての取組みについて</p> <p>ア 宴会等でできる「30・10運動」の周知について</p> <p>イ 「やまぐち食べきり協力店」の登録推進について</p> <p>ウ 食品在庫の適切な管理や食材の有効活用等、家庭でできる取組みの普及啓発について</p> <p>(2) 災害時備蓄食料の更新時の対応について</p> <p>(3) 学校給食での取組みを通し、食育の充実を図ることについて</p>
2	不妊治療のサポート体制の充実について		(1)	<p>不妊治療費助成の現状について</p> <p>(2) 相談体制について（心のケア、男性不妊治療等）</p> <p>(3) 不妊治療と仕事の両立支援について</p>
3	市営墓地等管理事業について			<p>市営納骨堂の設置について</p>

No.	7	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	共生型複合施設及び健康・福祉の拠点整備について	大平園の共生型複合施設の拠点としての整備について

No.	8	河村 孝		
質 問 事 項			要 旨	
1	山口県立農業大学校との連携について		(1) 防府市と県立農業大学校とのこれまでの連携の実績とこれからの連携について (2) 集落営農法人の現状と今後の支援の取組について	
2	特定外来生物への対応について		(1) 特定外来生物の実態調査について (2) 特定外来生物への対応策について	

No.	9	清水 浩司
質問事項		要 旨
1 高齢者等の外出支援策拡充について	<p>(1) 山口市が取り組んでいる100円バスを防府市にも導入する考えはありませんか。</p> <p>(2) 山口市が取り組んでいる他市にまたがる100円バスを防府市でも導入を検討する考えはありませんか。</p>	

No.	10	山本 久江	質 問 事 項	要 旨
1			庁舎建設について	<p>(1) 3月議会における全会一致の「新市庁舎建設に関する決議」への対応について</p> <p>(2) 「庁舎建設に関する検討会」では、市民アンケートの実施も必要ではないかと回答されていたが、今後、市民の声を聴く機会をどのように検討するのか。</p> <p>(3) 市町村役場機能緊急保全事業の活用による市財政負担の軽減について</p>
2			介護保険制度について	<p>(1) 第7期介護保険事業計画策定にむけての取組みについて</p> <p>(2) 介護保険料の減免制度の拡充について</p>
3			公共施設の老朽化対策について	<p>防府市公共施設等総合管理計画に、建物の老朽化対策が課題となっている文化財郷土資料館の今後の対応について</p>

No.	1 1	清水 力志		
質 問 事 項			要 旨	
1	国民健康保険の都道府県単位化について		(1)	平成30年度より国民健康保険の運営が山口県に移管されるが、新たな「都道府県化」と現在の制度とは、何がどう変わるのか特徴点を問う。 また、市国保の仕組みはどう変わるのか。
			(2)	国保財政への影響や被保険者への影響はどうか。
			(3)	県に納める納付金は、どのように算定されているか。
			(4)	市は納付金の100%完納が義務付けられているが、もし、未納が出た場合はどのように対応されるのか。

No.	1 2	石田 卓成	
質 問 事 項			要 旨
1	庁舎建設について	<p>各地での庁舎建設説明会で反対意見が相次いだ。市長は、なぜ外部委員会の出した自分にとって都合の良い意見ばかりを取り上げ市民の声を無視するのか。</p>	
2	市長旅費について	<p>市長は旅費の取扱について議会や市民に説明責任を果たすべきだと考えているが如何か。</p>	
3	農地を転用し太陽光発電設備が設置された後の地域住民とのトラブルについて	<p>(1) 白地の農地を県外の会社や個人が購入して、太陽光発電設備を設置する事例が相次ぎ、設置後に周辺農家や地元住民とトラブルが起こるケースが増えている。そろそろ防府市独自の条例を作り、計画段階で地元自治会の同意を得なければいけないように規制すべきではないのか。</p> <p>(2) 太陽光発電設備を設置する目的で農地転用がなされることを抑止したいという思惑もあって、3月議会の一般質問の際、白地の農地にも、周辺他市同様に多面的機能支払交付金の適用範囲を広げて欲しいと要望したのだが、残念な回答であった。現在の農水省の制度メニューの中では他に白地の農地を太陽光発電目的の転用から守れる良い方法は無いはずだが考え方に変わりはないのか。</p>	
4	市道や河川の改修について	<p>(1) 市道や河川の改修の要望が絶え間なく届いているが、担当課からは大変多くの順番待ちがあると聞く。現時点で何件の順番待ちがあるのか。また現在の予算規模で施工していった場合、各自治会から出されている緊急度の高い全ての問題が解決されるのは、いつ頃になる見込みか。また要望がなされている問題を全て解決するのに、予算は、どの程度必要なのか。</p> <p>(2) 今後複数年にわたり大規模事業が行われることにより、今まで以上に他の市道の改修のペースが遅れる事が懸念される。防災上の観点から、あまりにも危険なので自治会から改修要望が出されているものも多く、貯金をする余裕があるのならば、減らされている技術系職員の枠を増やしたり、予算の全体枠を増やす事を考えるべきではないか。</p>	

No.	13	和田 敏明		
質問事項			要 旨	
1	三世代同居支援事業補助金について		(1)	工事請負契約金額又は売買契約金額300万円（補助金額は対象額の10分の1、50万円が上限（対象額500万円以上））の金額の根拠について
			(2)	助成対象工事費を引き下げ、三世代同居の促進に努めてはどうか。
2	区画線（外側線）の設置基準について		(1)	外側線の設置基準について
			(2)	大平山山頂公園駐車場について
3	市税のクレジットカードによる納入について			<p>国税のクレジットカード払いが可能となり他都市でも導入されている。本市でも導入できないのか。</p>

No.	14	牛見航
質問事項		要旨
<p>1 内需の最大化について</p> <p>2 情報発信について</p>	<p>(1) バイ防府運動における文書の送付回数、送付先増加を検討頂く答弁についての進捗状況は？</p> <p>(2) 「防府市創業支援補助金」「空き店舗活用促進事業補助金」について</p> <p>(1) SNSの総合的なアカウント作成に向けての進捗状況について</p> <p>(2) 現状活用している情報発信媒体の費用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報 ・各種宣伝用冊子 ・YoutubeによるCM広告 ・Facebook <p>など</p>	

No.	15	三原 昭治		
質 問 事 項			要 旨	
1	市有三世代住宅について		<p>市有三世代住宅計画において、富海地区を選定した理由と入居条件等について</p>	
2	<p>右田ヶ岳、登山者用の駐車場のあり方とトイレ設置について</p>		<p>右田ヶ岳の登山者が近年、増加傾向にある中、登山者用の塚原駐車場は、休日等においては満車状態であり、住宅も隣接していることなどから、既存駐車場のあり方を見直すべきでは。更に、環境等を考慮して公衆トイレの設置を考えては。また、登山者による右田ヶ岳や駐車場、地元地域の清掃ボランティア活動の推進を図っていくべきでは。</p>	

No.	16	田中 健次		
質問事項			要 旨	
1	自治基本条例の見直しについて		<p>(1) 地方自治法改正により基本構想策定の義務付けが無くなったので、基本構想と基本計画の策定を条例で義務付けることが必要ではないですか。</p> <p>(2) 「法令遵守」、「公益通報」に関して、自治基本条例の下に、個別条例の制定を検討すべきではないですか。</p> <p>(3) 自治基本条例に「倫理」の条文を追加し、市長の政治倫理、職員の公務員倫理に関する個別条例の制定を検討すべきではないですか。</p>	
2	教育のあり方について		<p>(1) 「地教行法」の改正により、市の総合教育会議の場で、市長が教育政策について、教育委員会と議論するようになりました。 松浦市長は、大阪府の森友学園の教育理念に共鳴し、寄附をされたと聞いていますが、共鳴した事柄について、総合教育会議でこれまでに議論したこと、今後議論する考えはありますか。</p> <p>(2) 総合教育会議で市長と教育委員会とは協議・調整は行いますが、最終的な執行権限は教育委員会に留保されています。 教育委員会は、森友学園で行われていた「教育勅語」の暗誦については、どのように考えていますか。</p>	
3	市長行政報告について		<p>(1) 市庁舎建設について、市長、副市長出席のもと4月に説明に各地域をまわりましたが、駅北案について、反対意見や疑問が多く出されました。このことをどう受けとめられていますか。</p> <p>(2) 基本構想・基本計画のスケジュールで示されている基盤整備計画と権利調整は、比較検討の資料が整うまで進めるべきではないと思いますが、どういうお考えですか。</p>	

